

「林野庁メールマガジン」

森林（もり）づくり と木づかいのお便り

平成18年1月20日 第3号

CONTENTS

1 メッセージ（林野庁の紹介）

計画課長、山歩きで・・・。

2 施策紹介

【1】平成18年度林野庁予算の重点事項

3 当庁の動き

【1】主要木材の短期需給見通し（平成18年第1四半期及び平成18年第2四半期）について

4 緑化に関する情報

【1】森林ボランティア活動情報

【2】森林ボランティア団体のご紹介

シンポジウム

【3】森林文化政策研究会議・第8回シンポジウム

【4】国民参加の森林づくりシンポジウム

5 その他の情報（イベント情報等）

【1】平成16年度森林・林業白書の全文の掲載について
イベント情報

【2】第18回巨木を語ろう全国フォーラム

【3】NGOオイスカと企業・労組との実践活動報告会

～社会的ニーズを的確に汲み取る術は「協働」からの知恵にあり～

【4】写真展「光の造形 - 月の意匠・森の粧い」

お知らせ

【5】「森林の仕事ガイダンス・共同説明会」全国6会場で開催

編集後記

ご意見をお寄せ下さい。

1 メッセージ

『林野庁とはこんなところ』の2回目のご紹介は、林野庁森林整備部計画課です。

我が国の森林面積は2,500万 ha。その3分の1は国が管理する国有林、残りの3分の2が個人の山持ちさんや自治体が持ち主である『民有林(みんゆうりん)』です。『計画課(けいかくか)』は、その民有林の森林整備の要となる仕事をしているところです。「どんな森林を作っていくのか」、5年後、10年後、そしてもっと将来を見つめながら、その森林づくりの基本となる計画を作る仕事をしています。また、森林づくりの計画だけでなく、森林づくりを通じた山村地域の振興、さらには国内で培った森林整備の技術を活かした海外林業協力も担当する幅広い守備範囲の仕事をしています。

そこで、民有林の森林整備の要で、日夜仕事に奮闘しているのが「山田計画課長」です。そんな課長の新年を迎えてのメッセージをご紹介します。

明けましておめでとうございます。計画課長の山田です。最近、皆さんは山へ行ったことがありますか、そして山で大きく育ったスギやヒノキを見たことがありますか。屋久島や神社の大きなスギの木などを除けば、その多くは戦後に先人たちによって植えられたものです。第二次大戦後は戦中や戦後の日本の復興のためにたくさんの木を伐り出したためハゲ山がたくさんありました。そのハゲ山などに山で働く人たちが暗いうちから苗木を担いで、山の上まで登って植えて育てた木が戦後60年の歳月を経て大きく育ってきています。

よく山歩きに行くのですが、天気の良い日でも風の強い日は、風が惱ましく、どうしようかなと迷いながらスタートするものです。歩く途中でスギ林に入ると、視界は開けない反面、風も当たらず心地の良いウォーキングとなりますが、スギ林をぬけて視界が開けた途端に風がビュービュー。ほんとに身も凍るような山歩きになってしまいます。ただ、これを林業的に見ると「こんなところでも木は育っているんだな~」となるのです。木が大きく育っているからこそ、林の中を歩けるし、冷たい北風も遮ってくれるんだな~、なんて妙に感じ入ることがあります。

日本は世界から木材を輸入して使っていますが、国内のこのように大きく育っている木を上手に使っていく時代に入ってきました。18年度はそのための新しい取組を行うことにしています。これまでのように木を育てることに重きを置いたものから、その利用をも見据えた取組です。もちろん木を伐った後はまた木を植えて育てることを忘れてはなりません。

(注)1月13日付けの人事異動で、計画課長は山田課長から沼田課長に替わりました。このメッセージを書いた山田課長は、現在は九州森林管理局長です。

2 施策紹介

【1】平成18年度林野庁予算の重点事項

平成18年度の林野庁の予算は、森林の有する多面的機能の発揮及び林業の持続的かつ健全な発展に資する施策を引き続き推進するとともに、特に、昨年2月に発効した京都議定書の目標達成に向けて、森林吸収源対策を着実かつ総合的に推進するため、編成しています。具体的には、以下の施策に重点的に取り組むこととしています。

- (1) 間伐の着実な推進、針広混交林化・広葉樹林化の促進など健全な森林整備や森林整備法人等による多様な森林整備
- (2) NPO等による森林づくり活動に関する企画立案等の支援を通じた企業など広範な主体による国民参加の森林づくりの推進
- (3) 低コストで安定的な木材供給を実現する新生産システムの確立
- (4) 「緑の雇用」の着実な実施、都市との交流や地域資源の活用による山村への定住促進モデルの構築による担い手の確保・育成と山村の活性化
- (5) 木材の合法性を証明するための業界団体による自主的な取組の検証等の違法伐採対策、木質バイオマスの総合的な利活用の推進
- (6) 山地災害の発生の危険性が高い地域における治山施設の整備を重点的に行う災害に強い森林づくりの緊急的な推進

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/policy2/h18yosan/h18juuten1.html>

3 当庁の動き

【1】主要木材の短期需給見通し（平成18年第1四半期及び平成18年第2四半期）について

平成17年12月の木材需給対策中央協議会予測部会において、「主要木材の短期需給見通し（平成18年第1四半期及び平成18年第2四半期）」が作成されました。国産材を始め、米材、欧州材、南洋材等の見通しが公表されています。

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/puresu/h17-12gatu/1221jyukyu.html>

その他のプレスリリースはこちら

<http://www.rinya.maff.go.jp/puresu.html>

4 緑化に関する情報

【1】森林ボランティア活動情報

全国各地でボランティアによる森林づくりが活発に行われています。

国土緑化推進機構では、誰でも参加できる全国各地の森林ボランティア活動の情報を発信しています。

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.green.or.jp/volun/info/katsudou.asp>

【2】森林ボランティア団体のご紹介

今回は特定非営利活動法人「地球緑化センター」をご紹介します。

「地球緑化センター」は、緑のボランティアを育て、活動を応援する専門団体です。幅広い市民の参加を目指して、個人やグループをはじめ、行政、企業、学校など、様々な人々を対象に、多様な応援を行なっています。

その活動は中国での砂漠の緑化活動・日本全国での森林ボランティア活動など、国内外での森林づくり活動のほか、全国各地の山村に若者が1年間滞在し、地域づくりや自分発見の場として若い人たちの関心が高いプログラムである「緑のふるさと協力隊」など、多岐にわたっています。

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.kk.ij4u.or.jp/~gec/>

シンポジウム

【3】森林文化政策研究会議・第8回シンポジウム

具体的内容 豊かな自然の恵みを生かし、人々が築いてきた里山に代表される「森林文化社会」について森林文化政策研究会議では、調査研究の成果を7回にわたり研究発表会、シンポジウムという形で教育問題を含め、広く一般市民の皆様に関わりかけ、話し合ってきました。

今回は、これまでの経過のポイントを浮き彫りにしながら、森林・みどりをめぐる様々な問題を解決する一助になることを願いシンポジウムを開催いたします。

開催日 平成18年2月4日(土)
申し込み締め切り平成18年1月30日(月)
場所 東京大学農学部弥生講堂(東京都文京区)
主催 森林文化政策研究会議・(社)国土緑化推進機構

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.green.or.jp/volunteer/2005/1228-1.html>

【4】国民参加の森林づくりシンポジウム

具体的内容 地球温暖化対策を推進する上で森林の役割が注目され、その整備が大きな課題となっています。一方、緑のボランティア活動に参加する人は年々増え続け、全国で約2000団体・4万人を超すに至っています。当シンポジウムでは企業・個人の社会貢献活動の意味を考えながら、この市民パワーを森林の保全・利用にどのように生かしていくかを探ります。

開催日 平成18年2月24日(金)
場所 有楽町マリオン(11階)(東京都中央区)
主催 (社)国土緑化推進機構・朝日新聞社・(財)森林文化協会

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.green.or.jp/volunteer/2005/1226-1.html>

5 その他の情報 (イベント情報等)

【1】平成16年度森林・林業白書の全文の掲載について

平成16年度森林・林業白書は「平成16年度森林及び林業の動向に関する年次報告」と「平成17年度において講じようとする森林及び林業施策」で構成されています。

森林及び林業の動向において特徴的な動き、国民みなさまの関心を集めた出来事や本年度、取り組む施策等を紹介しており、ホームページ上で白書の全文を掲載していますので、みなさま是非ご活用ください。

ホームページはこちらから

<http://www.rinya.maff.go.jp/new/hakusyo.html>

イベント情報

【2】第18回巨木を語ろう全国フォーラム

具体的内容 我が国は古来豊かな森林に恵まれ、人びとは木材や木の実、山菜などの提供を受けるだけでなく、森林によって災害から守られるなど、さまざまな恩恵を享受し、森林を衣食住のよりどころとして生活してきました。

巨樹は環境のバロメーターともいわれますが、長年の風雪に耐え、年輪を積み重ねてきたこれらの巨樹たちの中には、枯死するもの、あるいは樹勢が衰え、人の助けを必要としているものも見受けられています。

このような時にあたり、私たちは「巨樹を守ろう！」のかけ声の下、宮崎県に集い、人が如何にして自然からの恩恵を持続的に享受し得るかを語り合うとともに、巨樹・古木をはじめ森と緑を守り育てる運動の輪を全国各地に広げ、21世紀の重要なテーマのひとつである地球環境保全の一端を担っていくため「第18回巨木を語ろう全国フォーラム」を開催します。

開催日 平成18年1月28日(土)～29日(日)
場所 ウェルシティ宮崎(宮崎厚生年金会館)
主催 社団法人宮崎県林業協会

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.m-forest-a.or.jp/kyoboku/kyoboku.htm>

【3】NGOオイスカと企業・労組との実践活動報告会

～社会的ニーズを的確に汲み取る術は「協働」からの知恵にあり～

具体的内容 財団法人オイスカは農業の技術指導を通じた人づくりを軸にアジア・太平洋諸国で43年間活動を行ってきましたが、1980年から、海外での植林活動や子供の森計画などを実施しております。また、国内でも東京都八王子市で「夕やけ小やけ森づくり」など様々な森林保全活動を実践しており、各種団体、行政や一般市民の方など、団体間のネットワークの「接着剤」としての役割も果たしながら活動しています。

こういった国内外の植林等の活動事例の報告や企業・労組そして行政や地域社会との「協働」の事例を報告し、国内外の森林保全活動の発展を図りたく報告会を開催します。

開催日 平成18年2月1日(水)
場所 経団連会館9F(東京都千代田区)
主催 財団法人オイスカ・オイスカ首都圏支部

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://oisca.org/join/event/kigyo.htm>

【4】写真展「光の造形 - 月の意匠・森の粧い」

具体的内容 日本の自然は、人々の感性の方向を決める羅針盤でした。月光に照らされる森の輝きを身近に、また、日本の森林を守り世界の自然を守る心を育てて頂きたく、写真展を開催します。

開催期間 平成18年2月3日(金)～26日(日)
会場 ポーラミュージアム アネックス(東京都銀座1-7-7)
主催 財団法人森林文化協会

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.shinrinbunka.com/>

お知らせ

【5】「森林の仕事ガイダンス・共同説明会」全国6会場で開催

日本の林業は、その担い手の減少と高齢化が進んでいます。木材を生み、空気をつくり、水を蓄え、地球の温暖化を防ぐ森林。それを大切に守り育てていく人が、いま求められています。「森林の仕事ガイダンス&共同説明会」は、森林で働いてみたい、森林の仕事について話を聞きたい、という方のための相談会です。

森林の機能や林業の仕事の重要性、その他就業までの流れや、林業の担い手を支援する「緑の雇用」等の情報提供と就業相談、仕事内容および事業所の説明を行います。

「森林の仕事ガイダンス&共同説明会」は林野庁の補助を受けて全国森林組合連合会が実施するもので、参加は無料となっています。林業への就業に関心のある方はお気軽にお立ち寄り下さい。履歴書不要・入退自由です。

日程・会場

- 【大阪会場】 2月4日(土)～5日(日)大阪市 大阪会館
- 【福岡会場】 2月10日(金)～11日(土)福岡市 博多スターレーン
- 【仙台会場】 2月17日(金)～18日(土)仙台市 アズテックミュージアム
- 【名古屋会場】 2月25日(土)～26日(日)名古屋市 クリスタルホール
- 【東京会場】 3月4日(土)～5日(日)池袋サンシャインシティ文化会館

【広島会場】 3月10日(金)～11日(土)広島市 広島産業会館

詳しい内容は以下のページにてご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/roudou/top2/index.htm>

編集後記

林野庁としては、新年早々に長官を始め幹部の異動があり、少しばたばたと始まった年でした。新年のご挨拶には、些か遅くなってしまいましたが、今年最初のメルマガとなりました。創刊して3号目とまだまだ未熟なものですが、今年もよろしく申し上げます。

さて、今年の大きな課題の一つに「森林・林業基本計画」の見直しがあります。先日、記者クラブの要請で勉強会が行われ、一般紙やテレビ局の記者さん方が集まりました。質疑でも活発に質問が飛び交い、関心の高さが伺われました。これから林政審議会で諮問を行い、9月を目途にとりまとめが行われる予定です。他にも課題が山積みの当庁ですが、適宜情報を提供していきたいと思っておりますので、どうぞ末永くご愛顧いただきますようお願い致します。

ご意見をお寄せ下さい。

ご意見、ご要望、または、転載を希望される場合は、下記編集発行先にメールにてお寄せください。

ご注意

メールマガジンに掲載したURLで、一部PDF形式のものがあります。

PDFファイルをご覧頂くためには林野庁ホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/puresu.html>

をご覧になり、「Get Adobe Reader」のボタンで Adobe Reader をダウンロードしてください。

編集発行

〒100-8952 東京都千代田区霞が関1-2-1

林野庁 広報室

TEL 03-3501-3967

E-mail : kouhou_rinseika2@nm.maff.go.jp

メールマガジンのバックナンバーや配信停止の手続き及びメールアドレスなどの会員情報の変更は下記サイトで手続きをお願いいたします。

パスワードをお忘れの場合はパスワードの再発行をしてください。

バックナンバーは、こちらからご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/mailmagazine/mail.html>

メールアドレス等の変更

<http://www.maff.go.jp/mail/henko.htm>

変更にはご登録いただいたメールアドレスとパスワードが必要です。

メールマガジンの配信停止

<http://www.maff.go.jp/mail/kaijo.htm>

配信停止の際にはご登録いただいたメールアドレスとパスワードが必要です。

パスワード再発行

万一パスワードをお忘れの場合は下記よりご登録いただいたメールアドレスを入力して、パスワードの再発行をしてください。

<http://www.maff.go.jp/mail/password.htm>